SHARP

2026年度 第2四半期 決算

Ⅰ．2026年度 上期 決算概要
Ⅱ．2026年度 第2四半期 決算概要
Ⅲ．2026年度 通期 業績予想
Ⅳ．補足資料

シャープ株式会社
2026年11月9日

・本日はご多忙な中、ご参加頂き ありがとうございます。
　また、日頃は、当社の広報活動・IR活動にご協力頂き、
　まことにありがとうございます。

・それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

連結業績概要

・2026年度 上期の業績は、事業環境の悪化などにより、減収減益。

・ブランド事業は、スマートライフが前年同期並みとなるも、
スマートワークプレイスが伸長し、増収。

- スマートライフ：インドネシアなど海外重点地域での販売が好調。
- スマートワークプレイス：オフィスソリューションや国内MFPが伸長。

・ディスプレイデバイスは、構造改革の効果もあり、営業赤字が縮小。

・業績は、概ね想定通りに進捗していることから、
通期業績予想を据え置く。

SHARP

・最初は、連結業績の概要になります。

・2026年度 上期の業績は、事業環境の悪化などにより、
減収減益となりました。

・ブランド事業は、スマートライフが前年同期並みとなったものの、
スマートワークプレイスが伸長し、増収となりました。
スマートライフでは、インドネシアなど海外重点地域での販売が好調で、
スマートワークプレイスでは、オフィスソリューションや国内MFPなどが
伸長しました。

・また、ディスプレイデバイスは、構造改革の効果もあり、
営業赤字が縮小しました。

・業績は、概ね想定通りに進捗していることから、
通期業績予想を据え置きます。

Ⅰ. 2026年度 上期 決算概要

・まず、2026年度 上期の実績について、ご説明させていただきます。

2026年度 上期 連結業績概要

（単位：十億円）	FY2025			FY2026		
	上期	下期	通期	上期	Y on Y 増減額	Y on Y 増減率
売上高	**950.3**	**942.4**	**1,892.8**	**883.4**	-66.9	-7.0%
営業利益	**28.9** (3.0%)	**19.6** (2.1%)	**48.5** (2.6%)	**12.9** (1.5%)	-16.0	-55.3%
経常利益	**33.5** (3.5%)	**24.3** (2.6%)	**57.9** (3.1%)	**14.9** (1.7%)	-18.6	-55.5%
最終利益	**45.4** (4.8%)	**1.9** (0.2%)	**47.4** (2.5%)	**10.8** (1.2%)	-34.6	-76.2%
平均為替レート						
ドル円	146.04	155.51	150.78	159.37		
ユーロ円	168.06	181.52	174.79	184.35		

SHARP

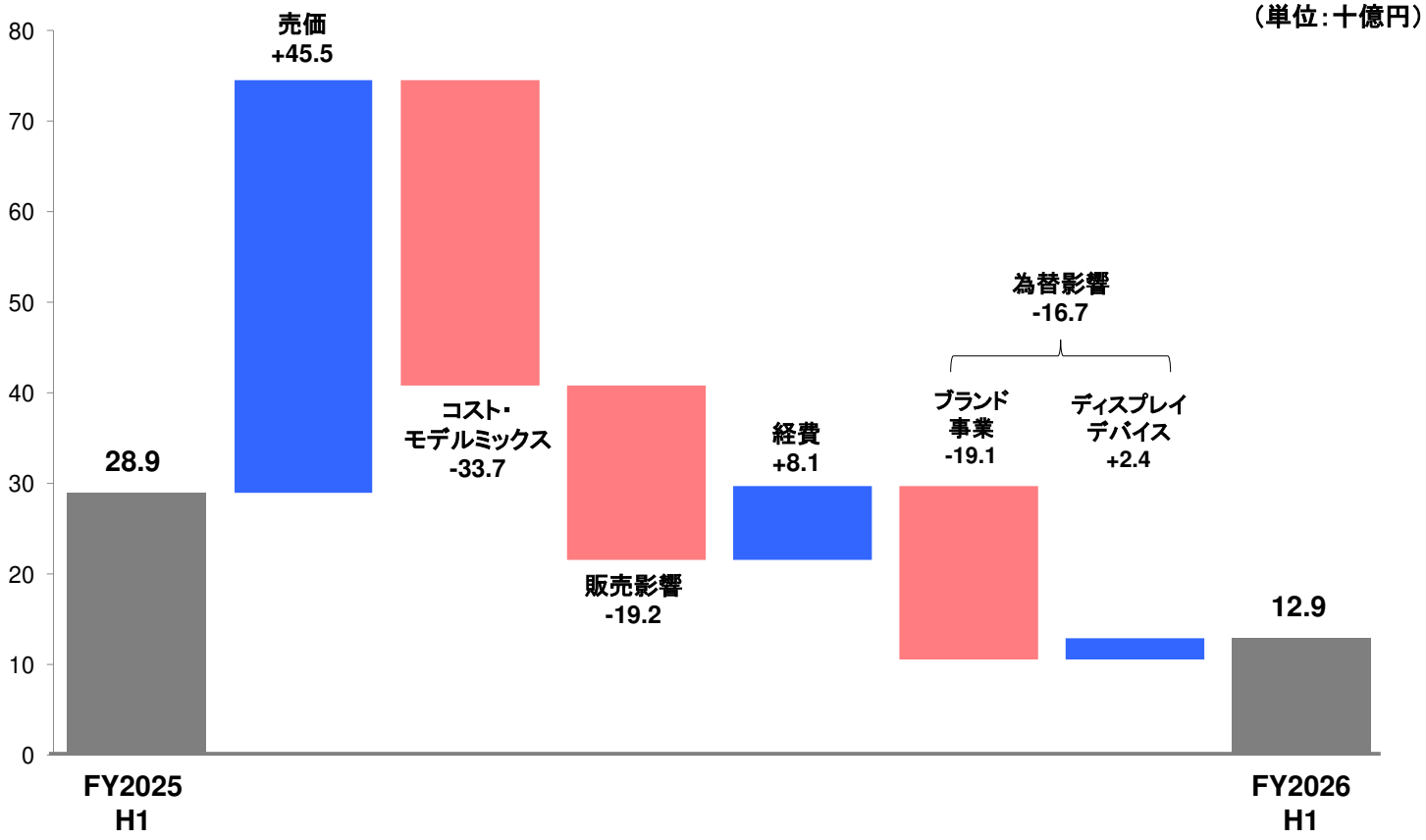
・次のスライドをご覧ください。上期の業績です。

・売上高は、8,834億円となりました。

・利益につきましては、
営業利益が 129億円、経常利益が 149億円、最終利益が 108億円となりました。

営業利益 要因別増減分析（対前年同期）

（管理会計）
（単位：十億円）

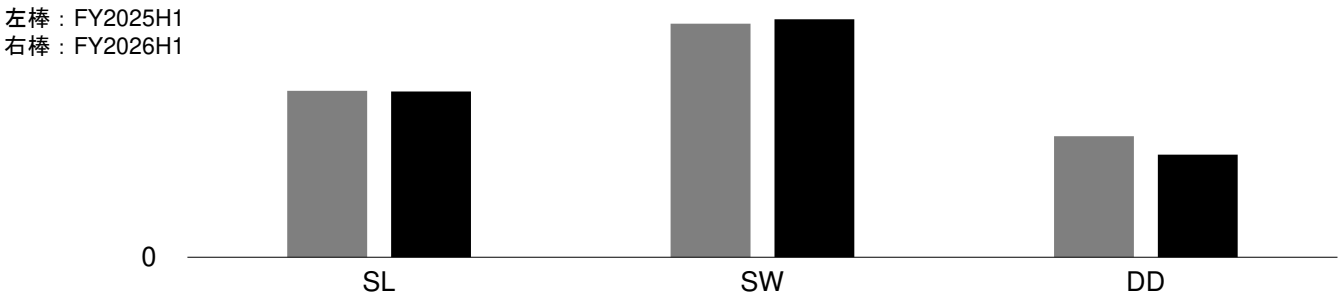


SHARP

・次のスライドに、営業利益の前年同期からの増減を要因別にまとめていますので、ご覧ください。

セグメント別売上高

（単位：十億円）	FY2025			FY2026	
	上期	下期	通期	上期	Y on Y
スマートライフ	291.1	306.8	597.9	290.1	-0.4%
スマートワークプレイス	408.5	425.2	833.8	416.3	+1.9%
ブランド事業	699.6	732.1	1,431.8	706.4	+1.0%
ディスプレイデバイス	211.8	211.6	423.5	179.4	-15.3%
小計	911.5	943.7	1,855.3	885.9	-2.8%
その他	45.3	1.6	47.0	-	-
合計	956.8	945.4	1,902.3	885.9	-7.4%
調整額	-6.5	-2.9	-9.5	-2.4	-
全社	950.3	942.4	1,892.8	883.4	-7.0%



※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

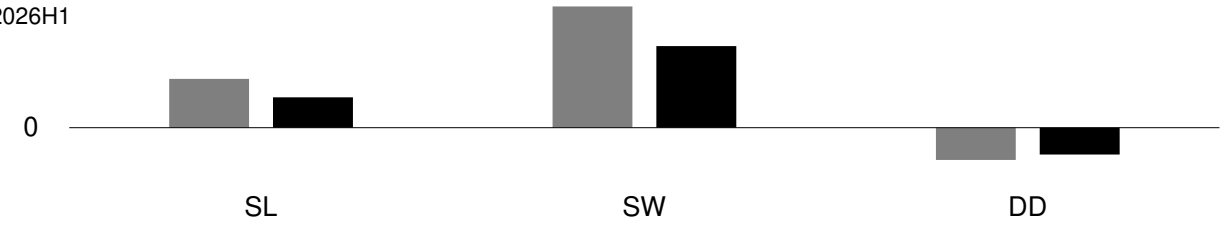
・次は、セグメント別 売上高の一覧です。

・ブランド事業の売上高は、前年同期比 1.0%増の 7,064億円となりました。

セグメント別営業利益

（単位：十億円）	FY2025 上期	FY2025 下期	FY2025 通期	FY2026 上期	FY2026 Y on Y
スマートライフ	**13.2** (4.6%)	**15.1** (4.9%)	**28.4** (4.8%)	**8.2** (2.8%)	-37.8%
スマートワークプレイス	**32.9** (8.1%)	**24.6** (5.8%)	**57.5** (6.9%)	**22.2** (5.3%)	-32.7%
ブランド事業	**46.2** (6.6%)	**39.7** (5.4%)	**86.0** (6.0%)	**30.4** (4.3%)	-34.2%
ディスプレイデバイス	**-8.7** (-4.1%)	**-9.5** (-4.5%)	**-18.2** (-4.3%)	**-7.2** (-4.1%)	-
小計	**37.5** (4.1%)	**30.2** (3.2%)	**67.7** (3.7%)	**23.1** (2.6%)	-38.2%
その他	**1.2** (2.7%)	**-0.5** (-31.6%)	**0.6** (1.5%)	**-**	-
合計	**38.7** (4.0%)	**29.7** (3.1%)	**68.4** (3.6%)	**23.1** (2.6%)	-40.2%
調整額	**-9.7**	**-10.1**	**-19.9**	**-10.2**	-
全社	**28.9** (3.0%)	**19.6** (2.1%)	**48.5** (2.6%)	**12.9** (1.5%)	-55.3%

左棒：FY2025H1
右棒：FY2026H1



SL　SW　DD

SHARP

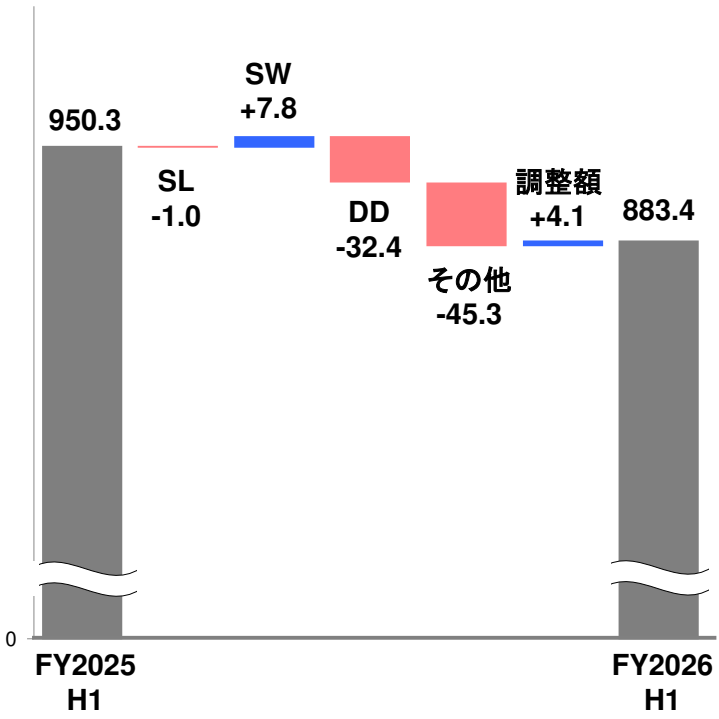
※（）内の数字は営業利益率です。

- 次は、セグメント別 営業利益の一覧になります。

- ブランド事業の営業利益は、前年同期比 34.2%減の 304億円、
  営業利益率は 4.3%となりました。
  ディスプレイデバイスについては、構造改革の進展などに伴い、
  赤字が縮小しています。

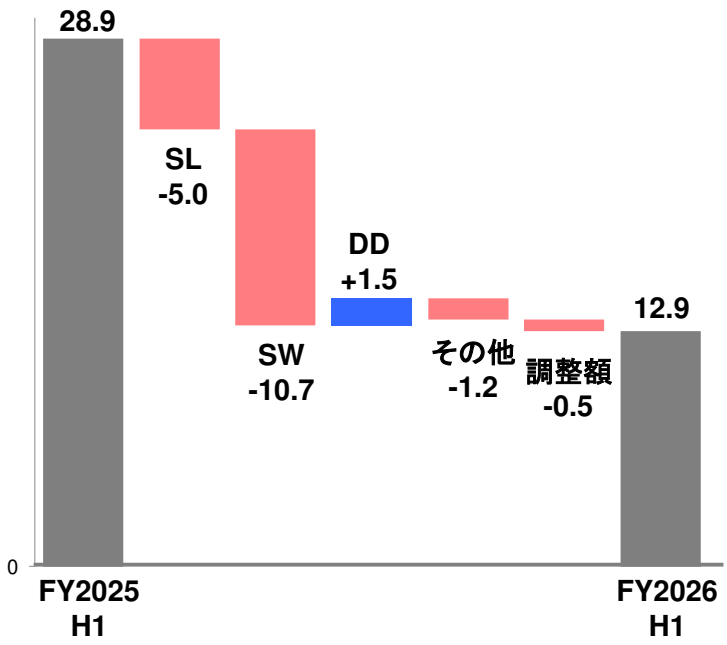
セグメント別増減（対前年同期）

売上高



営業利益

（単位：十億円）



SHARP

・次のスライドに、売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめていますので、ご覧ください。

Ⅱ．2026年度 第2四半期 決算概要

・次に、2026年度 第2四半期の実績について、ご説明させていただきます。

2026年度 第2四半期 連結業績概要

（単位：十億円）

	FY2025				FY2026			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y 増減額	Y on Y 増減率
売上高	**472.4**	**477.8**	**467.3**	**475.1**	**435.2**	**448.2**	-29.6	-6.2%
営業利益	**15.3** (3.2%)	**13.6** (2.9%)	**12.0** (2.6%)	**7.5** (1.6%)	**8.2** (1.9%)	**4.7** (1.1%)	-8.9	-65.3%
経常利益	**18.5** (3.9%)	**14.9** (3.1%)	**14.1** (3.0%)	**10.2** (2.2%)	**6.5** (1.5%)	**8.3** (1.9%)	-6.6	-44.4%
最終利益	**27.2** (5.8%)	**18.2** (3.8%)	**22.0** (4.7%)	**-20.0** (-4.2%)	**3.1** (0.7%)	**7.7** (1.7%)	-10.5	-57.7%
平均為替レート								
ドル円	144.60	147.48	154.15	156.87	159.49	159.25		
ユーロ円	163.81	172.31	179.39	183.65	185.38	183.31		

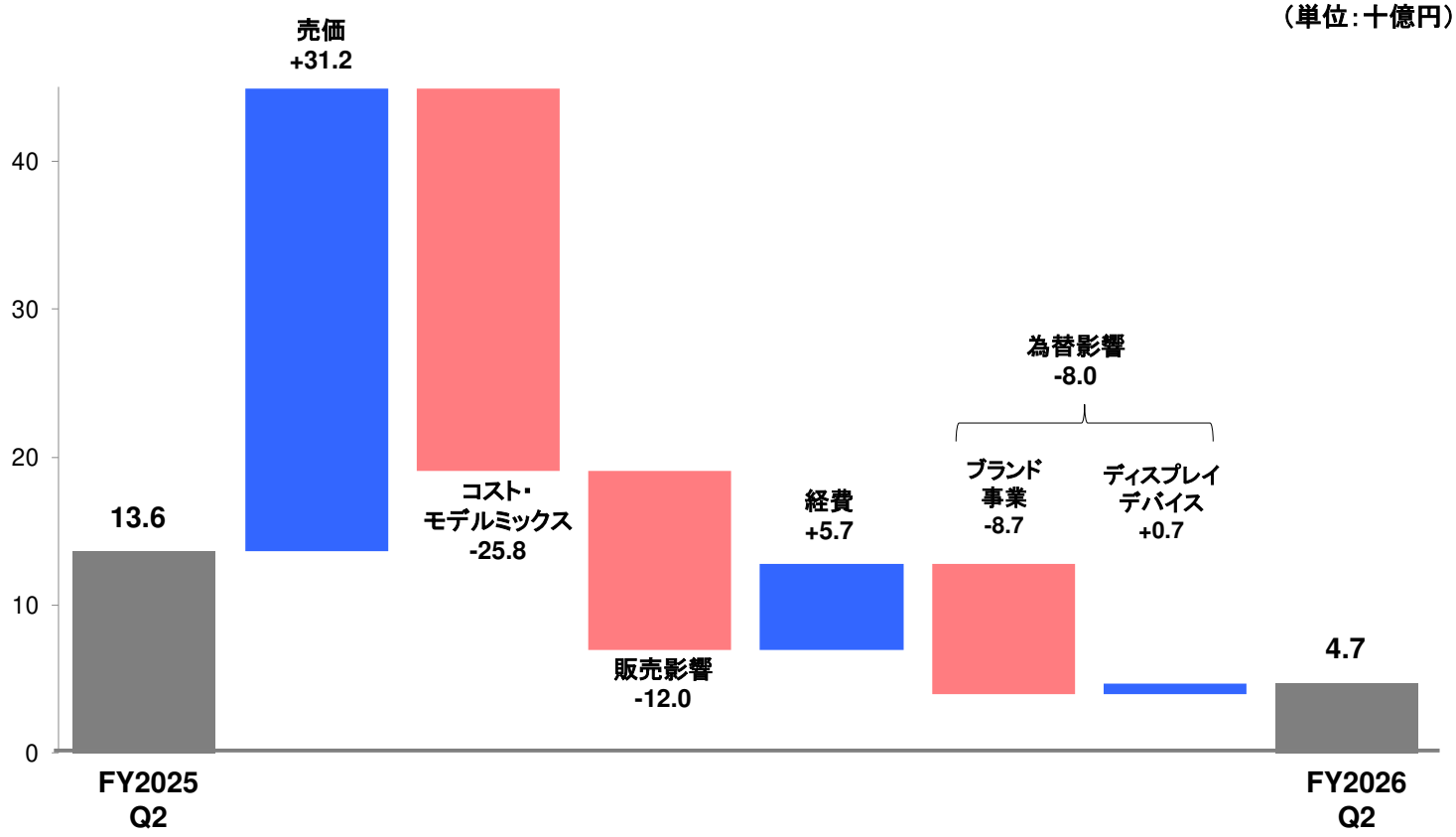
・次のスライドをご覧ください。第2四半期の業績です。

・売上高は、4,482億円となりました。

・利益につきましては、
営業利益が 47億円、経常利益が 83億円、最終利益が 77億円となりました。

営業利益 要因別増減分析（対前年同期）

（管理会計）
（単位：十億円）



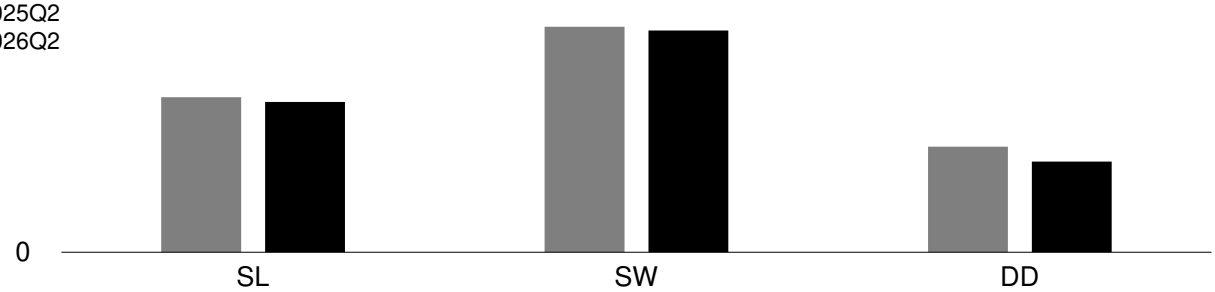
SHARP

・次のスライドに、営業利益の前年同期からの増減を要因別にまとめていますので、ご覧ください。

セグメント別売上高

（単位：十億円）	FY2025				FY2026		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
スマートライフ	140.3	150.7	157.1	149.6	144.0	146.0	-3.1%
スマートワークプレイス	189.3	219.1	207.5	217.7	200.8	215.5	-1.7%
ブランド事業	329.7	369.9	364.7	367.4	344.9	361.5	-2.3%
ディスプレイデバイス	109.2	102.6	103.5	108.0	91.3	88.1	-14.1%
小計	439.0	472.5	468.2	475.4	436.2	449.6	-4.8%
その他	38.0	7.2	0.8	0.8	-	-	-
合計	477.0	479.8	469.1	476.3	436.2	449.6	-6.3%
調整額	-4.5	-1.9	-1.7	-1.1	-1.0	-1.4	-
全社	472.4	477.8	467.3	475.1	435.2	448.2	-6.2%

左棒：FY2025Q2
右棒：FY2026Q2



※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

・次は、セグメント別 売上高の一覧です。

・ブランド事業の売上高は、前年同期比 2.3%減の 3,615億円となりました。

セグメント別営業利益

（単位：十億円）	FY2025 Q1	FY2025 Q2	FY2025 Q3	FY2025 Q4	FY2026 Q1	FY2026 Q2	Y on Y
スマートライフ	**6.8** (4.9%)	**6.4** (4.2%)	**8.4** (5.4%)	**6.7** (4.5%)	**3.7** (2.6%)	**4.5** (3.1%)	-29.5%
スマートワークプレイス	**14.2** (7.5%)	**18.7** (8.6%)	**13.7** (6.6%)	**10.8** (5.0%)	**10.7** (5.3%)	**11.4** (5.3%)	-38.8%
ブランド事業	**21.0** (6.4%)	**25.1** (6.8%)	**22.2** (6.1%)	**17.5** (4.8%)	**14.4** (4.2%)	**16.0** (4.4%)	-36.4%
ディスプレイデバイス	**-2.5** (-2.3%)	**-6.2** (-6.1%)	**-4.8** (-4.6%)	**-4.7** (-4.4%)	**-2.1** (-2.4%)	**-5.1** (-5.8%)	-
小計	**18.5** (4.2%)	**18.9** (4.0%)	**17.3** (3.7%)	**12.8** (2.7%)	**12.2** (2.8%)	**10.8** (2.4%)	-42.5%
その他	**1.3** (3.5%)	**-0.1** (-1.6%)	**-0.5** (-58.8%)	**-0.0** (-2.6%)	**-**	**-**	-
合計	**19.9** (4.2%)	**18.8** (3.9%)	**16.8** (3.6%)	**12.8** (2.7%)	**12.2** (2.8%)	**10.8** (2.4%)	-42.1%
調整額	**-4.6**	**-5.1**	**-4.8**	**-5.2**	**-4.0**	**-6.1**	-
全社	**15.3** (3.2%)	**13.6** (2.9%)	**12.0** (2.6%)	**7.5** (1.6%)	**8.2** (1.9%)	**4.7** (1.1%)	-65.3%



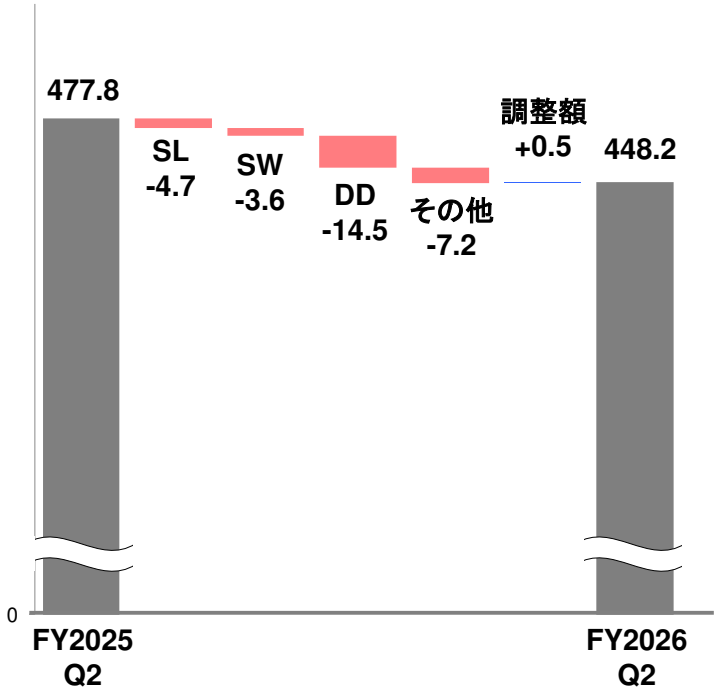
※（）内の数字は営業利益率です。

- 次は、セグメント別 営業利益の一覧になります。

- ブランド事業の営業利益は、
  部材価格の高騰や円安の影響が大きかったことから、
  前年同期比 36.4%減の 160億円、営業利益率は 4.4%となりました。
  ただし、売価アップを進めた効果などがあり、営業利益額・利益率とも
  第1四半期からは上昇しています。

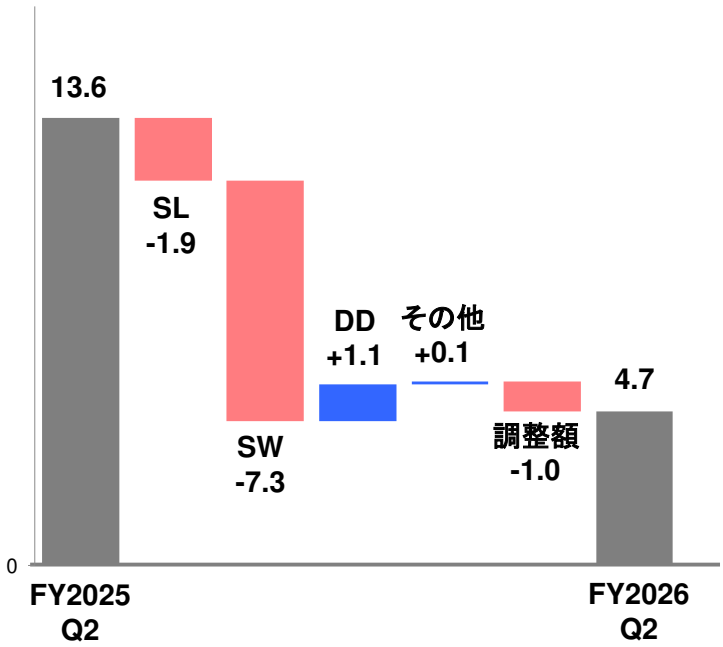
セグメント別増減（対前年同期）

売上高



営業利益

（単位：十億円）



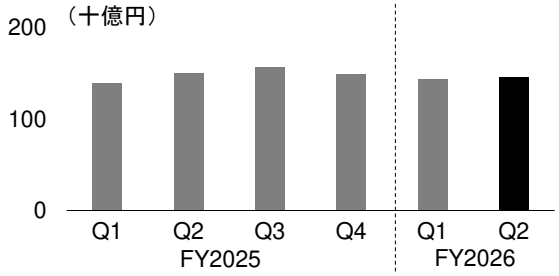
SHARP

・次のスライドに、売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめていますので、ご覧ください。

スマートライフ

（単位：十億円）	FY2025				FY2026		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	140.3	150.7	157.1	149.6	144.0	146.0	-3.1%
営業利益	6.8	6.4	8.4	6.7	3.7	4.5	-29.5%
（利益率）	(4.9%)	(4.2%)	(5.4%)	(4.5%)	(2.6%)	(3.1%)	

売上高

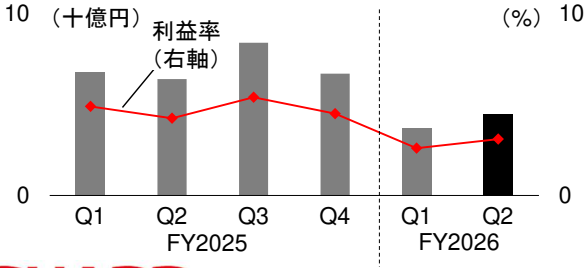


（増）白物家電事業は、国内では冷蔵庫が前年同期に及ばなかったものの、エアコンが大きく伸長した。海外では、米州の調理家電、ASEANのエアコンや空気清浄機が好調に推移した。

（減）テレビ事業では、欧州やインドネシアが伸長したものの、国内が他社攻勢の影響で減収となり、前年同期を下回った。

（減）エネルギーソリューション事業は、宇宙用が伸長したものの、国内EPCが減収となった。

営業利益



（増）売価アップ。

（減）部材価格の高騰。

（減）円安の影響。

SHARP

- 次は、セグメントごとの概況になります。まずは、スマートライフです。
- 売上高は、白物家電事業が増収、テレビ事業とエネルギーソリューション事業が減収となり、前年同期比 3.1%減の 1,460億円となりました。

  白物家電事業は、国内・海外とも増収となりました。

  国内では、冷蔵庫が前年同期に及ばなかったものの、2027年度省エネ基準改訂を前にした駆け込み需要に加え、東京都補助金の影響などもあり、エアコンが大幅に伸長しました。

  海外では、米州で調理家電が好調に推移したほか、ASEANで前年同期に冷夏の影響を受けて需要が落ち込んだエアコンが回復し、空気清浄機も伸長しました。

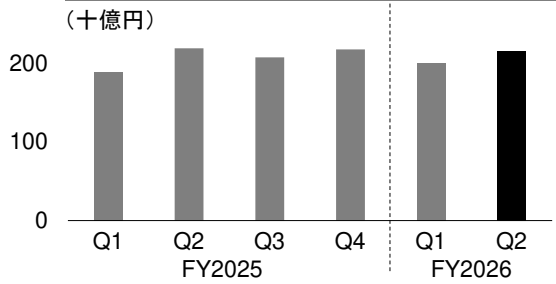
  テレビ事業は、欧州やインドネシアが伸長したものの、国内が他社攻勢の影響で減収となったことから、前年同期を下回りました。

  エネルギーソリューション事業は、宇宙用が伸長したものの、
  国内EPCが減収となり、前年同期に及びませんでした。
- 営業利益は、29.5%減の 45億円、営業利益率は 3.1%となりました。

スマートワークプレイス

（単位：十億円）	FY2025				FY2026		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	189.3	219.1	207.5	217.7	200.8	215.5	-1.7%
営業利益	14.2	18.7	13.7	10.8	10.7	11.4	-38.8%
（利益率）	(7.5%)	(8.6%)	(6.6%)	(5.0%)	(5.3%)	(5.3%)	

売上高

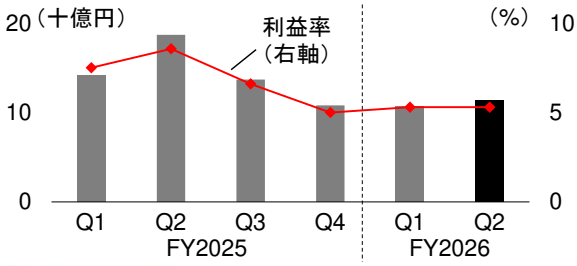


（増）PC事業では、価格転嫁が進展したことに加え、売価上昇に備えた前倒し需要もあったことから、国内B2Bなどが大幅に伸長した。

（増）ビジネスソリューション事業は、ITサービス会社の買収効果もあり、国内外でオフィスソリューションが伸長したほか、国内のMFPなども好調に推移した。

（減）通信事業は、メモリ価格高騰の影響で市況が冷え込むなか、他社攻勢の影響もあり、減収となった。

営業利益



（増） 売価アップ。

（増） モデルミックスの改善。

（減） 部材価格の高騰。

（減） 円安の影響。

SHARP

- 次は、スマートワークプレイスです。

- 売上高は、PC事業、ビジネスソリューション事業が増収、通信事業が減収となり、前年同期比1.7%減の 2,155億円となりました。

  PC事業は、価格転嫁が進展したことに加え、売価上昇に備えた前倒し需要もあったことから、国内B2Bなどが大幅に伸長しました。

  ビジネスソリューション事業は、ITサービス会社の買収効果もあり、国内外でオフィスソリューションが伸長したほか、国内のMFPなども好調に推移しました。

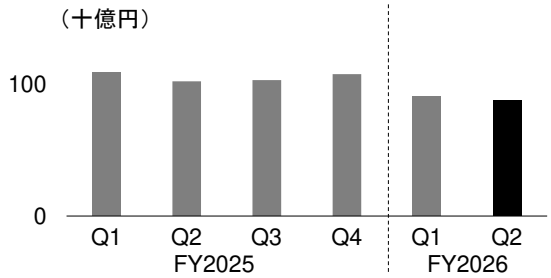
  通信事業は、メモリ価格高騰の影響で市況が冷え込むなか、
  他社攻勢の影響もあり、減収となりました。

- 営業利益は 38.8%減の 114億円、営業利益率は 5.3%となりました。

ディスプレイデバイス

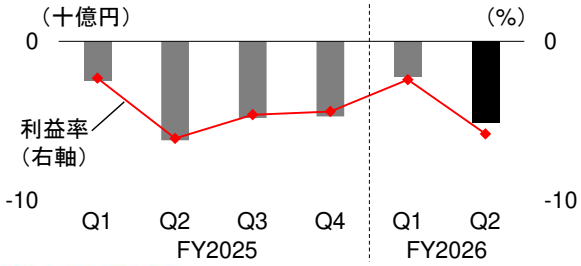
（単位：十億円）	FY2025				FY2026		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Y on Y
売上高	109.2	102.6	103.5	108.0	91.3	88.1	-14.1%
営業利益	-2.5	-6.2	-4.8	-4.7	-2.1	-5.1	-
（利益率）	(-2.3%)	(-6.1%)	(-4.6%)	(-4.4%)	(-2.4%)	(-5.8%)	

売上高



（増）車載向けは堅調に推移。
（減）PC・タブレット向けが販売減。

営業利益



（増） 構造改革の進展。
（増） 円安の影響。
（減） 販売減。
（減） 部材価格の高騰。

SHARP

- 次は、ディスプレイデバイスです。
- 売上高は、前年同期比 14.1%減の 881億円となりました。
  車載向けは堅調に推移しましたが、PC・タブレット向けが販売減となりました。
- 営業利益は、前年同期の62億円の赤字に対して、11億円改善し、
  51億円の赤字となりました。

  販売減や部材価格高騰の影響はありましたが、
  構造改革を進めた効果などがあり、赤字が縮小しました。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

（単位：十億円）	FY2025 Q1	FY2025 Q2	FY2025 Q3	FY2025 Q4	FY2026 Q1	FY2026 Q2	Y on Y 増減額
営業利益	**15.3**	**13.6**	**12.0**	**7.5**	**8.2**	**4.7**	-8.9
営業外損益	**+3.2**	**+1.3**	**+2.1**	**+2.6**	**-1.6**	**+3.6**	+2.3
内：支払利息	-2.0	-2.2	-2.1	-2.2	-2.9	-3.6	-1.4
為替差損益	+1.2	-0.3	+0.5	+1.9	+0.0	+3.1	+3.4
投資関連収益・費用	-0.2	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0	+0.0	-
持分法による投資損益	+2.1	+1.8	+2.0	+1.8	+2.1	+2.9	+1.1
シンジケートローン手数料	-	-	-	-	-2.2	-	-
経常利益	**18.5**	**14.9**	**14.1**	**10.2**	**6.5**	**8.3**	-6.6
特別損益	**+11.7**	**+5.5**	**+12.5**	**-24.3**	**-1.1**	**+1.6**	-3.9
内：固定資産売却益	+11.6	+7.8	+14.3	+2.2	+0.2	+2.2	-5.6
事業構造改革引当金戻入額	-	-	-	-	-	+1.6	+1.6
事業譲渡益	+0.8	-0.8	+1.9	-0.0	-	-	+0.8
関係会社株式売却損	-	-	-	-	-0.8	-	-
事業構造改革費用	-	-	-3.0	-16.8	-0.5	-1.7	-1.7
減損損失	-0.5	-2.5	-0.5	-2.5	-	-0.1	+2.4
製品保証引当金繰入額	-	-	-	-7.0	-	-	-
税前利益	**30.3**	**20.4**	**26.6**	**-14.0**	**5.4**	**10.0**	-10.4
法人税等　他	**-3.0**	**-2.2**	**-4.6**	**-6.0**	**-2.3**	**-2.2**	-
最終利益	**27.2**	**18.2**	**22.0**	**-20.0**	**3.1**	**7.7**	-10.5

・次は、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。

・特別損益として、液晶工場に関連する「固定資産売却益」や、
前年度に引き当てた亀山第2工場の構造改革費用を抑制したことに伴う
「事業構造改革費用引当金戻入額」、
亀山第2工場生産停止に係る「事業構造改革費用」などを計上しました。

連結貸借対照表推移

- 自己資本比率が20.4%まで上昇。

（単位：十億円）

	FY2025	FY2026	
	3月末	6月末	9月末
現預金	238.4	250.3	211.1
売掛金等	368.8	343.9	314.9
棚卸資産	250.3	289.1	305.8
その他	91.7	83.8	78.1
流動資産 計	**949.3**	**967.2**	**910.0**
有形固定資産	183.2	183.0	178.0
無形固定資産	38.1	37.4	35.9
投資その他資産	257.4	263.9	267.5
固定資産 計	**478.8**	**484.4**	**481.5**
資産合計	**1,428.2**	**1,451.7**	**1,391.6**
期末日レート			
ドル円	159.93	162.45	157.33
ユーロ円	183.44	185.44	178.30

	FY2025	FY2026	
	3月末	6月末	9月末
買掛金等	273.7	271.5	254.4
短期借入金	432.2	81.6	62.9
1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	339.4	317.0	306.1
流動負債 計	**1,045.3**	**670.2**	**623.4**
社債	0.0	0.0	0.0
長期借入金	0.5	386.9	386.6
その他	87.0	86.3	82.1
固定負債 計	**87.5**	**473.2**	**468.7**
純資産	**295.2**	**308.2**	**299.4**
負債純資産合計	**1,428.2**	**1,451.7**	**1,391.6**
自己資本比率	19.6%	20.2%	20.4%
自己資本	279.9	292.6	283.8

SHARP

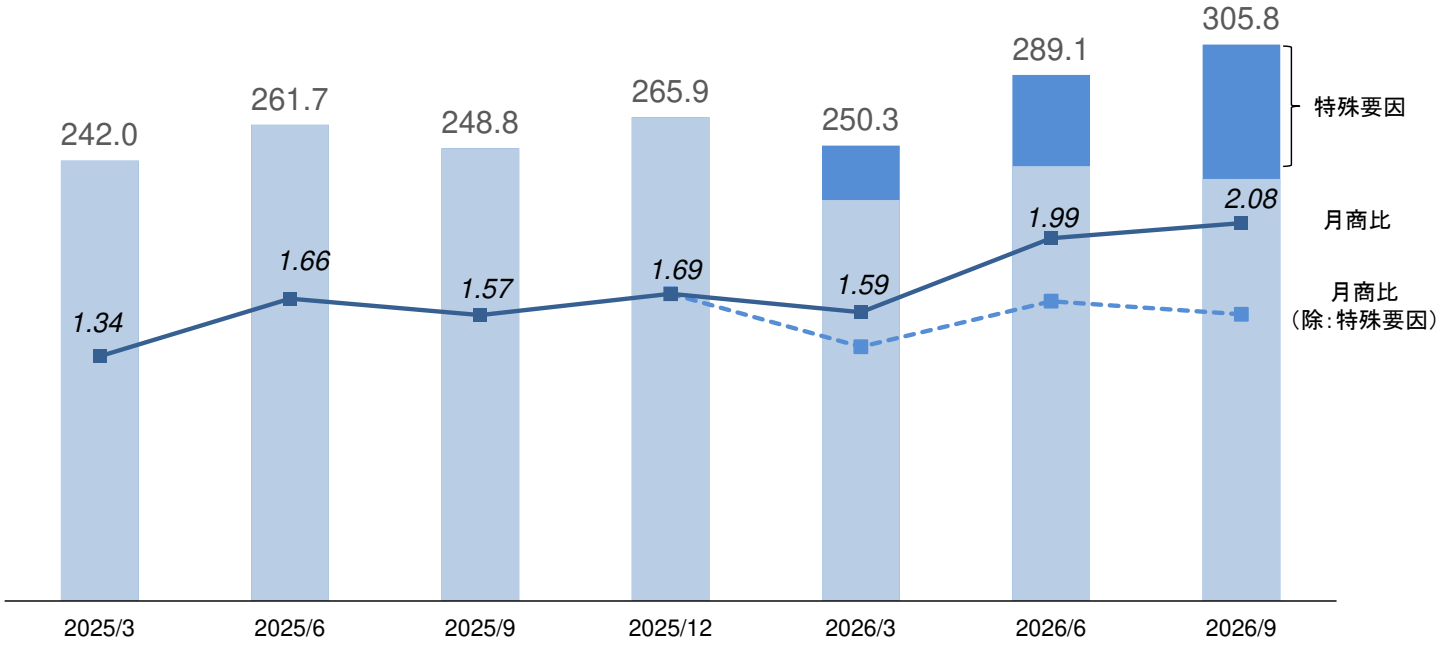
・次は、貸借対照表の推移です。

・「現預金」は、2026年6月末の 2,503億円に対し、2,111億円に、
「純資産」は 3,082億円に対し、2,994億円に、
「自己資本比率」は、20.2%に対し、20.4%になりました。

棚卸資産の推移

- 棚卸資産は、6月末比で増加したものの、メモリの先行調達など特殊要因を除けば減少。
- 今後の販売計画に沿った適正な在庫水準。

（単位：十億円、ヶ月）



（期末日レート）

	2025/3	2025/6	2025/9	2025/12	2026/3	2026/6	2026/9
ドル円	149.53	144.82	148.89	156.54	159.93	162.45	157.33

SHARP

・次は、棚卸資産の推移になります。

・棚卸資産は、価格が高騰しているメモリの先行調達を行ったことなどから、
6月末の2,891億円に対し、3,058億円に増加しました。

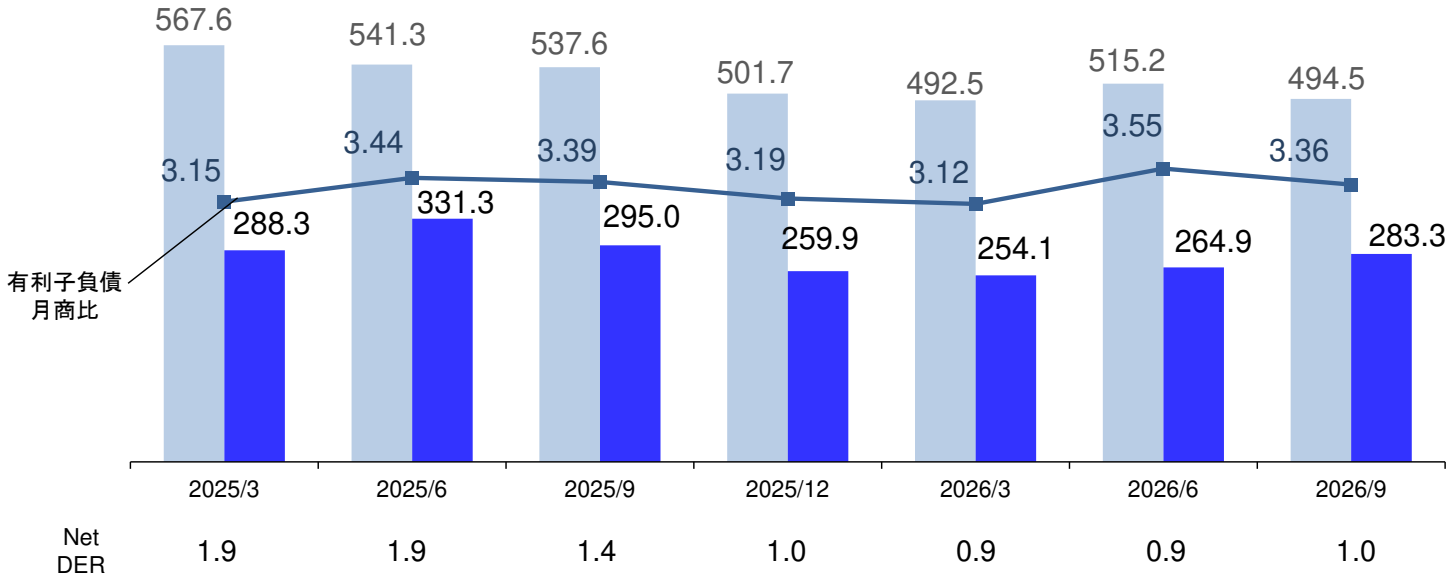
ただし、先行調達など特殊要因の影響を除けば、
金額・月商比とも2026年6月末を下回っており、
今後の販売計画に沿った適正水準となっております。

・引き続き、状況の変化を注視し、適正な在庫の管理に努めてまいります。

有利子負債の推移

（単位：十億円、ヶ月）

左棒：有利子負債
右棒：純有利子負債



※純有利子負債：有利子負債 － 現預金

SHARP

・次は、有利子負債の推移です。

・有利子負債は 6月末の 5,152億円から 4,945億円に減少したものの、
部材の先行調達を行った影響もあり、
純有利子負債は 2,649億円から 2,833億円に増加しました。

Ⅲ. 2026年度 通期 業績予想

・次は、2026年度の通期 業績予想です。

2026年度 通期 業績予想

・ 業績は、概ね想定通りに進捗していることから、通期業績予想を据え置く。

（単位：十億円）

	FY2025	FY2026	
	通期	通期予想	前年比
売上高	**1,892.8**	**1,770.0**	-6.5%
営業利益	**48.5**	**30.0**	-38.2%
（利益率）	(2.6%)	(1.7%)	
経常利益	**57.9**	**22.0**	-62.0%
（利益率）	(3.1%)	(1.2%)	
最終利益	**47.4**	**25.0**	-47.3%
（利益率）	(2.5%)	(1.4%)	
平均為替レート		**下期予想**	
ドル円	150.78	160.00	
ユーロ円	174.79	183.00	

SHARP

・ 業績は、概ね想定通りに進捗していることから、通期業績予想を据え置きます。

セグメント別 業績予想

（単位：十億円）

		FY2025	FY2026			
		通期実績	上期	下期予想	通期予想	前年比
スマートライフ	売上高	597.9	290.1	339.9	630.0	+5.4%
	営業利益	28.4	8.2	16.8	25.0	-12.1%
	（利益率）	(4.8%)	(2.8%)	(4.9%)	(4.0%)	
スマートワークプレイス	売上高	833.8	416.3	415.7	832.0	-0.2%
	営業利益	57.5	22.2	19.8	42.0	-27.1%
	（利益率）	(6.9%)	(5.3%)	(4.7%)	(5.0%)	
ブランド事業	売上高	1,431.8	706.4	755.6	1,462.0	+2.1%
	営業利益	86.0	30.4	36.6	67.0	-22.1%
	（利益率）	(6.0%)	(4.3%)	(4.8%)	(4.6%)	
ディスプレイデバイス	売上高	423.5	179.4	124.6	304.0	-28.2%
	営業利益	-18.2	-7.2	-4.8	-12.0	-
	（利益率）	(-4.3%)	(-4.1%)	(-3.8%)	(-3.9%)	
小計	売上高	1,855.3	885.9	880.1	1,766.0	-4.8%
	営業利益	67.7	23.1	31.9	55.0	-18.9%
	（利益率）	(3.7%)	(2.6%)	(3.6%)	(3.1%)	
その他	売上高	47.0	-	-	-	-
	営業利益	0.6	-	-	-	-
	（利益率）	(1.5%)				
調整額	売上高	-9.5	-2.4	6.4	4.0	-
	営業利益	-19.9	-10.2	-14.8	-25.0	-
全社	売上高	1,892.8	883.4	886.6	1,770.0	-6.5%
	営業利益	48.5	12.9	17.1	30.0	-38.2%
	（利益率）	(2.6%)	(1.5%)	(1.9%)	(1.7%)	

SHARP

・次のスライドをご覧ください。

セグメント別の業績予想についても据え置きます。

セグメント別 下期重点取り組み

セグメント	下期重点取り組み
1. スマートライフ	➢ B2B事業および海外事業を継続強化。 - 上期では、国内B2B売上高が対前年約20%増、ASEAN中核拠点のインドネシア売上高が同10%超増。 ➢ 円安や部材高騰によるコスト増を、付加価値商品（AIoT、ハイエンド、ローカルフィットなど）の販売拡大や新製品を中心とした価格転嫁で吸収。
2. スマートワークプレイス	➢ サービス/ソリューション事業を継続強化。 - 上期では、ITサービス事業売上高が対前年約30%増。コンビニ向けプリンティングサービスも堅調に推移。 ➢ メモリ価格高騰によるコスト増に対し、先行調達で影響を抑制しつつ、B2B事業では各顧客と協議しながら価格転嫁を推進。スマホ事業では、顧客ニーズを踏まえた価格と仕様の最適化で対応。
3. ディスプレイデバイス	➢ 欧米完成車メーカーA社向け販売を開始し、亀山第1工場がQ2で四半期黒字に転換。下期以降も販売が継続拡大見通し。 - 同工場のA社向け投入比率が、Q1の10%からQ2で20%に上昇。下期中に30%を超える見通し(生産能力比)。 ➢ 亀山第2工場において、生産終了に向けた先行生産を10月末に完了。想定より2ヶ月前倒しでの生産停止となり、下期経費の削減を見込む。

・こちらのスライドは、セグメント別の下期重点取り組みです。

・下期は、上期に順調に推移したスマートライフのB2B事業および海外事業、スマートワークプレイスのサービス/ソリューション事業を中心に、事業拡大に取り組んでまいります。

・また、ディスプレイデバイスでは、第2四半期に欧米完成車メーカー向けの販売を開始し、生産を担う亀山第1工場が四半期で黒字転換しました。
・下期以降も販売が拡大する見通しであり、さらなる収益改善を実現してまいります。

新規事業の推進状況



- 9月15日、国内向けにAIサーバーの受注を開始。
- 順調な引き合いがあり、顧客ニーズの理解が深耕。これを踏まえてビジネスモデルを適宜アップデートしつつ、受注獲得につなげる。



- 大手衛星オペレーターのSESと、該社の中軌道衛星通信サービス「O3b mPOWER」の日本展開に向けた取り組みを推進するとともに、両社CEOで対談を行うなど、関係を継続強化。
- 通信規格「5G-NTN」の実用化や将来のモビリティ分野における活用に向け、技術検証・通信試験環境を国内に整備。

SHARP

・次のスライドは、新規事業の推進状況です。

・AIサーバー事業、衛星通信事業ともに、順調に進捗しており、
引き続き、事業の立ち上げ、拡大に向け、取り組みを着実に推進してまいります。

・ご説明は以上です。

下期の事業環境は、依然として厳しい状況が続きますが、
上期に順調に推移した重点事業を中心に業績改善を加速するとともに、
引き続き環境変化に機敏に対応し、公表値の達成に取り組んでまいります。

・ご清聴ありがとうございました。

Ⅳ. 補足資料

連結業績概要

（単位：十億円）

	FY2025			FY2026		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
売上高	**950.3**	**942.4**	**1,892.8**	**883.4**	**886.6**	**1,770.0**
営業利益	**28.9**	**19.6**	**48.5**	**12.9**	**17.1**	**30.0**
(利益率)	(3.0%)	(2.1%)	(2.6%)	(1.5%)	(1.9%)	(1.7%)
経常利益	**33.5**	**24.3**	**57.9**	**14.9**	**7.1**	**22.0**
(利益率)	(3.5%)	(2.6%)	(3.1%)	(1.7%)	(0.8%)	(1.2%)
最終利益	**45.4**	**1.9**	**47.4**	**10.8**	**14.2**	**25.0**
(利益率)	(4.8%)	(0.2%)	(2.5%)	(1.2%)	(1.6%)	(1.4%)

四半期 連結業績概要

（単位：十億円）

	FY2025				FY2026	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	**472.4**	**477.8**	**467.3**	**475.1**	**435.2**	**448.2**
営業利益	**15.3**	**13.6**	**12.0**	**7.5**	**8.2**	**4.7**
(利益率)	(3.2%)	(2.9%)	(2.6%)	(1.6%)	(1.9%)	(1.1%)
経常利益	**18.5**	**14.9**	**14.1**	**10.2**	**6.5**	**8.3**
(利益率)	(3.9%)	(3.1%)	(3.0%)	(2.2%)	(1.5%)	(1.9%)
最終利益	**27.2**	**18.2**	**22.0**	**-20.0**	**3.1**	**7.7**
(利益率)	(5.8%)	(3.8%)	(4.7%)	(-4.2%)	(0.7%)	(1.7%)

セグメント別売上高

（単位：十億円）

	FY2025			FY2026		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
スマートライフ	291.1	306.8	597.9	290.1	339.9	630.0
スマートワークプレイス	408.5	425.2	833.8	416.3	415.7	832.0
ブランド事業	699.6	732.1	1,431.8	706.4	755.6	1,462.0
ディスプレイデバイス	211.8	211.6	423.5	179.4	124.6	304.0
小計	911.5	943.7	1,855.3	885.9	880.1	1,766.0
その他	45.3	1.6	47.0	-	-	-
合計	956.8	945.4	1,902.3	885.9	880.1	1,766.0
調整額	-6.5	-2.9	-9.5	-2.4	6.4	4.0
全社	950.3	942.4	1,892.8	883.4	886.6	1,770.0

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

セグメント別営業利益

（単位：十億円）

	FY2025			FY2026		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
スマートライフ	13.2 (4.6%)	15.1 (4.9%)	28.4 (4.8%)	8.2 (2.8%)	16.8 (4.9%)	25.0 (4.0%)
スマートワークプレイス	32.9 (8.1%)	24.6 (5.8%)	57.5 (6.9%)	22.2 (5.3%)	19.8 (4.7%)	42.0 (5.0%)
ブランド事業	46.2 (6.6%)	39.7 (5.4%)	86.0 (6.0%)	30.4 (4.3%)	36.6 (4.8%)	67.0 (4.6%)
ディスプレイデバイス	-8.7 (-4.1%)	-9.5 (-4.5%)	-18.2 (-4.3%)	-7.2 (-4.1%)	-4.8 (-3.8%)	-12.0 (-3.9%)
小計	37.5 (4.1%)	30.2 (3.2%)	67.7 (3.7%)	23.1 (2.6%)	31.9 (3.6%)	55.0 (3.1%)
その他	1.2 (2.7%)	-0.5 (-31.6%)	0.6 (1.5%)	-	-	-
合計	38.7 (4.0%)	29.7 (3.1%)	68.4 (3.6%)	23.1 (2.6%)	31.9 (3.6%)	55.0 (3.1%)
調整額	-9.7	-10.1	-19.9	-10.2	-14.8	-25.0
全社	28.9 (3.0%)	19.6 (2.1%)	48.5 (2.6%)	12.9 (1.5%)	17.1 (1.9%)	30.0 (1.7%)

※（）内の数字は営業利益率です。

四半期 セグメント別売上高

（単位：十億円）

	FY2025				FY2026	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
スマートライフ	140.3	150.7	157.1	149.6	144.0	146.0
スマートワークプレイス	189.3	219.1	207.5	217.7	200.8	215.5
ブランド事業	329.7	369.9	364.7	367.4	344.9	361.5
ディスプレイデバイス	109.2	102.6	103.5	108.0	91.3	88.1
小計	439.0	472.5	468.2	475.4	436.2	449.6
その他	38.0	7.2	0.8	0.8	-	-
合計	477.0	479.8	469.1	476.3	436.2	449.6
調整額	-4.5	-1.9	-1.7	-1.1	-1.0	-1.4
全社	472.4	477.8	467.3	475.1	435.2	448.2

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

四半期 セグメント別営業利益

（単位：十億円）

	FY2025				FY2026	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
スマートライフ	6.8 (4.9%)	6.4 (4.2%)	8.4 (5.4%)	6.7 (4.5%)	3.7 (2.6%)	4.5 (3.1%)
スマートワークプレイス	14.2 (7.5%)	18.7 (8.6%)	13.7 (6.6%)	10.8 (5.0%)	10.7 (5.3%)	11.4 (5.3%)
ブランド事業	21.0 (6.4%)	25.1 (6.8%)	22.2 (6.1%)	17.5 (4.8%)	14.4 (4.2%)	16.0 (4.4%)
ディスプレイデバイス	-2.5 (-2.3%)	-6.2 (-6.1%)	-4.8 (-4.6%)	-4.7 (-4.4%)	-2.1 (-2.4%)	-5.1 (-5.8%)
小計	18.5 (4.2%)	18.9 (4.0%)	17.3 (3.7%)	12.8 (2.7%)	12.2 (2.8%)	10.8 (2.4%)
その他	1.3 (3.5%)	-0.1 (-1.6%)	-0.5 (-58.8%)	-0.0 (-2.6%)	-	-
合計	19.9 (4.2%)	18.8 (3.9%)	16.8 (3.6%)	12.8 (2.7%)	12.2 (2.8%)	10.8 (2.4%)
調整額	-4.6	-5.1	-4.8	-5.2	-4.0	-6.1
全社	15.3 (3.2%)	13.6 (2.9%)	12.0 (2.6%)	7.5 (1.6%)	8.2 (1.9%)	4.7 (1.1%)

※（）内の数字は営業利益率です。

設備投資・減価償却費等

（単位：十億円）

	FY2025			FY2026		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
設備投資	16.3	14.3	30.7	9.8	23.2	33.0
内：ディスプレイ	6.1	4.4	10.6	1.8	6.4	8.2
減価償却費	15.0	14.6	29.6	15.1	16.9	32.0
研究開発費	34.7	34.3	69.1	34.1	40.9	75.0

（単位：円）

平均為替レート	FY2025			FY2026	
	上期	下期	通期	上期	下期予想
米ドル	146.04	155.51	150.78	159.37	160.00
ユーロ	168.06	181.52	174.79	184.35	183.00

四半期 設備投資・減価償却費等

（単位：十億円）

	FY2025				FY2026	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
設備投資	5.1	11.1	6.6	7.7	4.8	4.9
内：ディスプレイ	1.2	4.9	2.1	2.3	0.8	1.0
減価償却費	7.5	7.4	7.2	7.4	7.4	7.7
研究開発費	17.0	17.7	16.6	17.7	16.2	17.8

（単位：円）

平均為替レート	FY2025				FY2026	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
米ドル	144.60	147.48	154.15	156.87	159.49	159.25
ユーロ	163.81	172.31	179.39	183.65	185.38	183.31

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

(1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
(2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
(3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
(4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
(5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
(6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
(7) 製品やサービスについての急速な技術革新　　など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。
※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。
※最終利益（損失）・・・
　親会社株主に帰属する当期純利益（損失）など
※開示セグメント及び略号
　スマートライフ(SL)、スマートワークプレイス(SW)、ディスプレイデバイス(DD)

SHARP

ひとの願いの、半歩先。

SHARP